機密受第3777號

3門

明治四十年十二月廿七日接受

機密公信第五一號

世界首都問題ニ關スル件

本件ニ關シ副領事官トシテ別紙寫ノ通リ總領事ヨリ報告及ビ其ノ筋ニ本官閣議ニ於テ進ム

考慮ノ筋敬具

明治四十年十二月廿一日

在米領事館事務代理
領事官補三穂五郎

外務大臣伯爵西園寺公望殿

在桑港日本領事館

38 式写

黄草坪問題ニ関シ岡部領事ノ
伺ヒニ付一進會長ト関係邦人
等京城會談ノ模様報告並ニ
改訂契約書等進達ノ件

本件ニ関シ客月五日附電信ヲ以テ稟請
致置候通リ岡部領事官陽朔ニ途次
黄草坪問題ニ関シ一進會長及ビ
関係邦人ノ京城會談ニ付キ其模様
ヲ官ニ報告シ出府ノ稟請ヲ得タル次第ニ
有之候間領事官ハ帰途自ら
概要ノ大綱ヲ報告シ富事者ヲシテ其帰趨
ヲ知ラシメン具体的結果ニ就テハ野口兼任
儒ニ委シテ帰朝セシムルトモ自然同
會談ノ模様ニ就キ細評ニ及ブベシ自然同
人ニト能ハザルニ義ト思考致候ニ就テ
ハ別紙写ノ通リ野口兼任儒ノ報告書
並ニ本問題ニ関スル改訂新旧契約写
並ニ及進達仕候間御査閲被成下様
度尚又黄草坪問題ノ現状ハ同島ニ於
ケル関係邦人ノ経営セル朝鮮式家屋七
棟外ニ在来ノ清國家屋五棟ヲ撤去シ
已ニ三十名ノ朝鮮人丈ハ入島シテ葭
草刈取ニ従事シ一方清国官憲ヨリハ

在外東京公使館

REEL No. 1-0369

0405

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

取益共同保管論ヲ申込ミ之カ商議ニ懸
ジツヽ利益アル地歩ヲ占ノ薩茅州取後
ニ於テハ道路開闢ニ資スル所アラントヲ又
タ州取權買収運動ニ関連シ清人ノ有
權者カ直接領事館ニ嘆願スルアリテ
之ヲ操縦シツヽアルモ未タ何等確定的現
象ヲ見ルヲ得ス何レ其内何等向面展開
ヲ見ルノ曉ニハ改メテ詳報告可致仮ニ得
共不取敢右申進候 敬具
明治四十年十二月廿一日
在安東領事欽事務代理
領事官補 三穂五郎

統監府
總務長官鶴原定吉殿

追テ本信写ハ林外務大臣及林
駐清公使ヘ領事官補トシテ進
達又写正同ク各係ヘ申進候

REEL No. 1-0369
0406
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

報告書

韓草坪問題ニ關シ同係爭者ノ一人柴田
麟次郎ハ對一進會代表者ニ訴ヘ
ト契約内容ニ就キ一進會ガ契約履
行ヲ請求スルモ之ヲ履行セズ解決ス
ルガ爲メニ一進會評議長ノ渡津
ニ於テ宋秉畯ニ委リ聞合セ事ニ任
權衡議シタルモ本問題ニ就テハ交
上ノ關係ハ全然無キ情両國ノ紛爭
件ニ付テ一進會ガ同様ニ取リ扱フ能
國ノ領土ヲ侵害スルモノナレバ衛
ルヲ勧告シ以テ論示シ韓紛議ヲ長
係趣ニ於テ本件ニ付キ相反セリ然ルニ終
ニ彼ヨリ商議ヲ請求シテ開議決定
ニ適ス歸朝ノ期近キニ迫リ然ラ遂次
京城ニ於テ直接一進會長ト柴田ノ間
ニ於テ商議セシメ以テ其商議ノ
模様ヲ貴官ニ報告セシメル必要ア
リトテ遂ニ統監府ヨリ統監府ヲ
命ゼラレ柴田ト共ニ去ル八日ヨリ關係
者ニ随伴シテ京城ニ出張セリ此行
韓草坪問題ニ關シ兩者間紛紜ヲ
解決スルニ付キ一致シ同時ニ
小幡草坪問題モ兩關係者間ノ
契約範圍内ニ於テ經營セシムルコトヲ

在安東日本領事館

第二ノ標準トセリ

二、英亭坪問題

開高舗事ハ李問題ノ解決ト

先ヅ一轉ノ大鐵ノ合弁ヲ提示セ

ハ外交期間ノ前日ノ

外交ノ内政ニ移轉

キトスル前ニ外交期間

ハ絶對的ナル事ニ内政

期間ト移轉

ニ干渉スベキ契約

當者相互ノ間ニ國防府ノ

任スベシ

外交期間ニ對シテ

外交期間ニ於ケル運動

尚ビ随テ事ガ最モ便

利ナル一方ヲ直接經營ニ從事セシムル

必要トスル其ニ於テ旧義州ニ於ケル一進

會代表者ノ如キ一二命ヲ李許ス術

ガサレバ大事ヲ決行スルコト能ハザルモ

ノナルヲ以テハ到底其任ニ耐ヘザルヲ以テ柴田

ヲシテ直接經營ノ任ニ當ラシムルコト

シ依リテ別紙契約書七貫ニ就テ勘

定セシカ如ク甲所ナリ一進會ハ此期間ニ於

ケル經營方法ヲ乙所ナル柴田麟次

郎ニ委任セル所以ナリ

内政ニ移轉シタル後ニ對シテ

在安東日本領事館

REEL No. 1-0369

0408

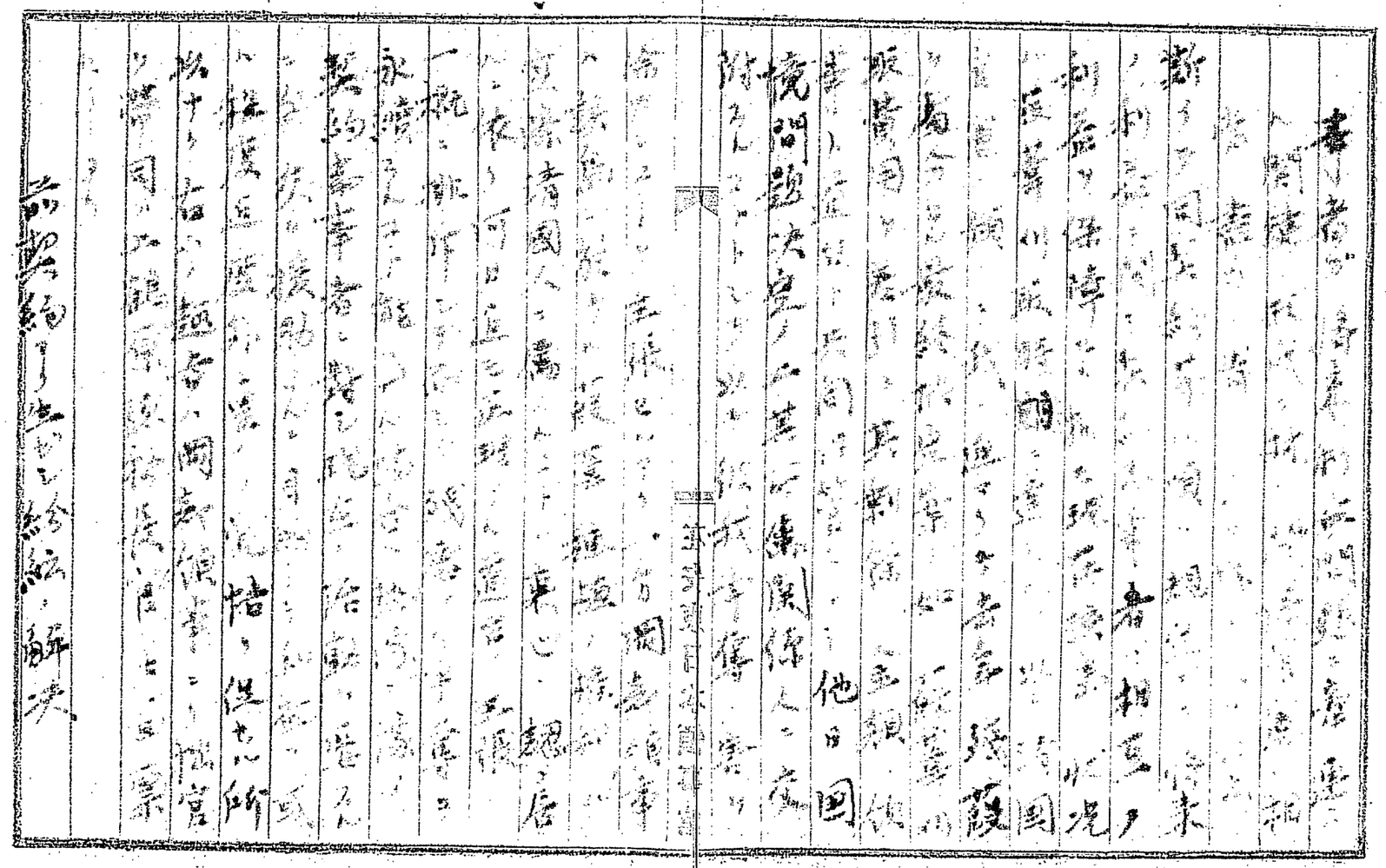
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

岡部領事ハ本問題ガ已ニ外交関係ヲ終了シ内政ニ移轉シタル後ノ處ノ今案ニ為ル顕ノ如キハ外交関係官憲ノ干渉スベキ限リニアラズトセラレタルヲ以テ外交問題終リ後ニ於ケル契約当事者ノ利益問題ハ已ニ外ニ置カレタリ然シ乍ラ利益危殆ノ状況ニ在ル間題ニ対シ何人モ労力ヲ効シ出資リ肯ニズハアラザルヲ以テ岡部領事ハ言フ所ナルガ此点ニ於テ危ノ如ク宣言セラレタリ

本問題ハ元来國境ヲ清ノ為ノ國家問題タル以ニ現在ニ於テ

儿利益ハ常ニ外交ニ危ク右セラレタル確実ヲ期スベカラズ柴田麟次郎ハ已ニ今日迄モ殆ド自家性命ノ危険ヲ顧ミズ本問題ノ為メニ奮精シタルハ最モ多トスベク将来モ尚ホ此覚悟ヲ以テ事ニ従ヒ一進會ニ亦利益問題ハ暫ク之ヲ提及セズ今日ノ處両者共ニ此國家問題ニ対シ交ヲ接収スルノ唯一ノ目的ヲ以テ同時ニ本問題ノ為ニ相轉シタル後ノ為メニ対シテハ政ニ相轉シタル後ノ為メニ対シテハ経済関係官憲ハ干渉スベキ限リノモノニアラズトスルモノニ外ナラズ論ナシ契約當

在安東日本領事館



REEL No. 1-0369

0410

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

在安東日本領事館

REEL No. 1-0369

0411

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二出張シテ在ソウル公使ト統監府ノ嘱託ニテ一進會ノ顧問タル内田良平氏ヲ派シテ高議ニ参與セシムルヨリ斯ノ問題ハ恐ラクハ各関係者柴田書記官ト一進會長李容九及内田良平ヲ其行館ニ召集シ示唆シ宗旨ヲ開示セシメ本件全部ノ問題ヲ解決シ翌十二日ヲ以テ別紙甲乙ノ通リ政治契約ヲ釘結セシムベキ行動ヲ決定シタリ、

黄草坪問題

十二日ヲ以テ契約スルコトヲ約セシモ夕刻ニ至リ一進會ノ都合ニ依リ調印ヲ延期シ十三日ヲ以テ調印ヲ行フヲ

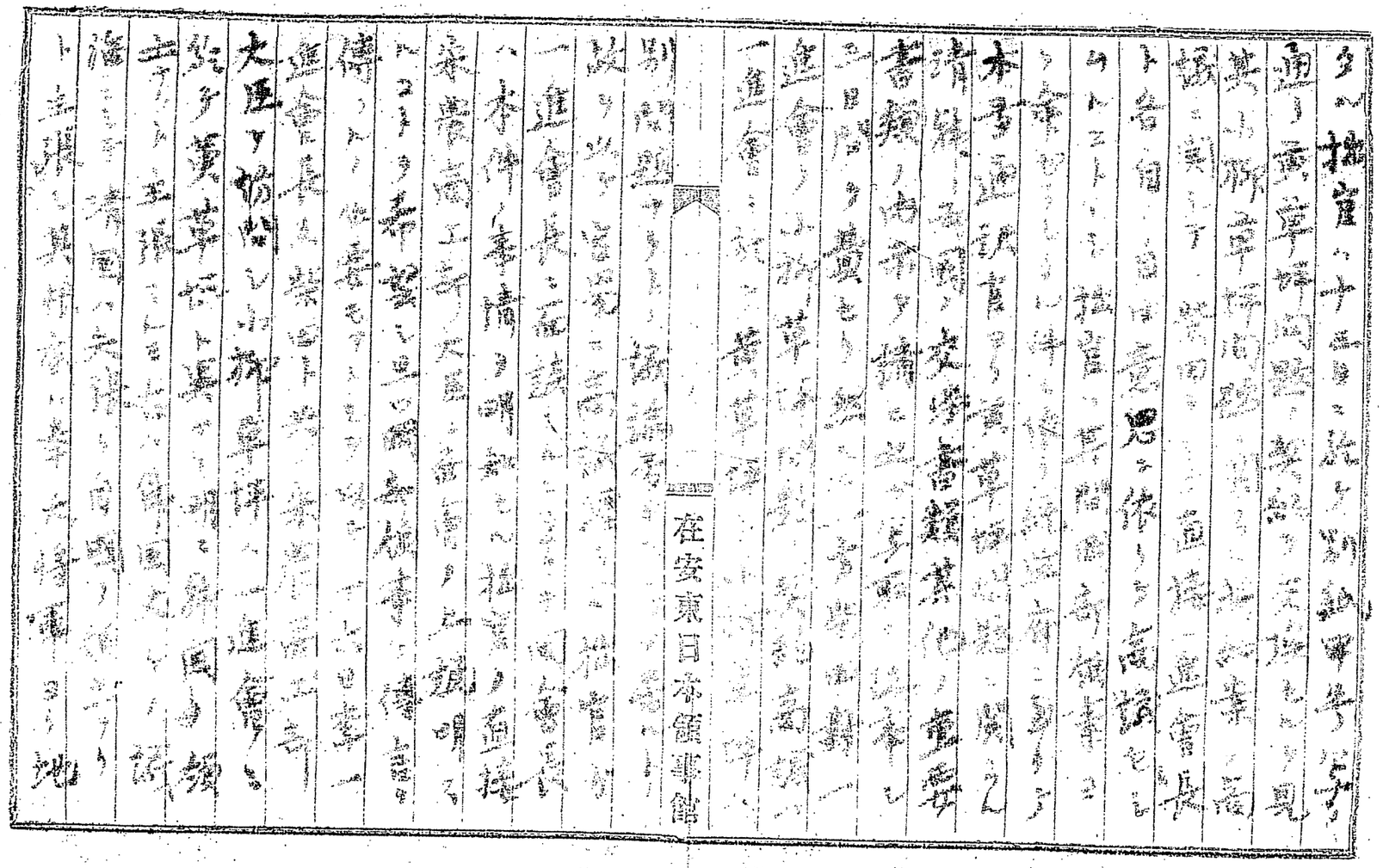
別更ニ一進會長ト李容九トノ会見ヲ機トシ柳草坪係長官ノ記録ヲ基トシ小柳草坪問題ヲモ此際解決シ置クノ必要アルベキ旨ヲ物シ一進會長モ略ボ同意シ何レ同會ノ重ナル者ト商議ノ上同時ニ契約スベキ旨ヲ約シ此ニ於テ同前段ノ事ニ関シ黄草坪問題ノ契約ヲ成ラシ小柳草坪問題ノ契約ヲ成ラシ且ツ指令ニ基キ三日ヲ以テ実行ニ着手シ終ニ解決ニ就カシムル

小柳草坪問題

小柳草坪問題ノ契約ヲ成ス事

坪問題ニ対シ打合ノ委任ヲ受ケ

在安東日本領事館



在安東日本領事館

REEL No. 1-0369

0413

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

秀ノ交附ヲ受ケ一新ニ伝達ヲ極付
ケラルヽヿヲ之ヲ在清国官憲ヨリ照会
公文等ヲ呈示シ拙官ノ強ニ之ヲ和人ノ
契約ニ入ハンヿヲ要請スルヿヲ了レド意
章坪問題ニ関スル経営上ニモ和人ノ
力ヲ藉ルノ必要アルヿハ以上ハ同一状態
ニ在ルヿハ彰章坪問題ニモ和人ノ力ヲ
利用スルノ必要アルヿハ同一理由ナルベキ然
シモ一進会ガ小都章坪ニ対シテ強テ
和人ノ関係ヲ作ルヿヲ欲セザルニ在シハ
亦タ如何トモ不可ナラズ要ハ唯タ進
会ニ於テ意達ニ日俄ノ賓ヲ挙ゲタル
交的交渉ヲ都形スルノ必要ヲ認ム

在安東日本領事館

ア施サンヿヲ望ム旨懇切ニ説明シタルニ
案ズ臣ニ頗ル拙官ノ意見ヲ敬シ近日
ツロクト小都章坪ハ商ノ関係有関係
換ノ死後其寡婦ヨリ次ヲ之ガ賣下
ヲ願出ルモ自分ハ親戚ノ間柄ニモ
ヲ且ツ寡婦ノ事業トモナハ益ヲ他人ノ
喰物トナルノミアルヲ依テ新近之ヲ思止
マラシムルモ夫張ト一進会ニ賣下ゲンヿヲ
大至シタルニ依リ更章坪ト同様柴田ト
契約スルヿヲ然ルベキトナシ説ケ寄方ヨ
リ提出セル契約案ハ其ノ剋近ニ調
印スルノ運ニ至リ取計フベキトノヿヲ
退散セリ然ルニ宋大臣ノ此言責ハ統

REEL No. 1-0369

0414

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

臨府ヨリ本問題ニ関係セシムルコトヲ内
田良平氏ト意思ノ疎通ヲ欠ケンモノ
有リタルトカノ政ヲ以テ外務ノ所ニ赴リ
宋大臣ヲ電話ヲ以テ拙官ニ通告ス
ルニ本件ハ内田良平氏ト會見ノ上決
定スベシト謂フニ在リ此ニ於テ拙官ハ翌
十七日内田良平ヲ訪問セシムルニ別ニ
異論ハナク唯ダ本契約所結ニ付テ
ノ如クナル迄ニ所ヲ以テ乙号ヲ
通ウ小柳章所ニ関スル一進會対紫
田ノ契約問題モ解決ヲ告ケ同部領
事ノ命令全部ヲ完行スルコトヲ得
タリ唯今宋大臣及一進會長内田
良平氏等ハ各特派員ニ命令ヲ拡メ
各員ニ面會ノ概略ヲ伺ヒテ協會
セザルベカラザル決ヲ得ザル問題ノミ
ナレバ自ラ解決ヲ以上ノ日ヲ長ス
ヲ要シ人遣感トスル所ナリ
右及報告ス
明治四十年十二月二十日
外務書記生兼任新義州理事廳屬
野口子内
副理事官兼任領事官補
三穂五郎殿

在安東日本領事館

REEL No. 1-0369
0415
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

甲号写

契約書

龍岩浦對面陽組心ノ葉洲黄章
呼支那人ノ大債主ト称シ一ノ紹介ニ付
一金壱万円ヲ日本人柴田鶴次郎ヲ
乙トシ左ノ契約ヲ結ブ
一、黄章呼経営ニ付乙ハ既ニ日本貨
四千円ノ資金ヲ注入セルヲ以テ甲ハ
此際左四千円ヲ出資シ以テ経営ニ
供スルモノトス
一、該経営ニ對シ此ノ除甲ノ出資ス
四千円ニ不足ノ壱万円ハ乙ノ負担
上手等ニ出資スル事
一、黄章呼ノ経営ハ軍ニ現金ノ用
的物ハ葉子用ヒ上ノ外ハ
其他呼ニ於ケル現業ニ使用ス
ベシ水田経営ニ付テハ或ハ漂流
木拾収等絶ヘス執地ニ生ズ
ル一切ノ財源ハ経
営ヲ甲乙合議ノ上ヲ事
一、右経営ニ要スル人夫ハ永住ノ
目的ヲ以テ甲ヨリ他ヲ親人ヲ移殖セ
シム事
一、黄章呼経営ニ関シ物件
ハ何等ノ名義ヲ以テ甲乙各
自ノ持分ヲ他人ニ譲渡又ハ担保
ノ目的ニ供スル事ヲ得ズ

在安東領事館

REEL No. 1-0369
0416
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一 該給定ノ事ハ甲乙ハ純全ニ
貳分ヲ市場ニ出荷物ニ付得ル
ヤモノトス

一 現時ノ債権者 清津 函館
外 其他 ノ新聞ニ公示ス
乙 経営其他全般ノ事ハ甲ニ
但シ甲ニ於テ乙ニ対シ異議ヲ唱ヘ
候事 敢テ許ス 債事 為決
仮令ヲ得

一 右外 定間 題 債者ノ 甲乙 両者
依頼ニ 異 約書 内容 事
ヲ可
但 制 新 ヲ 変動 ヲ

在安東日本領事館

一 本契約ハ 通ヲ作リ 甲乙各 通
通ヲ所持シ 通ヲ新 貳 理事
験ニ保留ス

合
明治四十年十月十日

農業会社代表者
一 住 会長 事 谷九
事務所 番地三十四番地
柴田 清次郎

REEL No. 1-0369
0417
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

復命済

秘[illegible]

契約書

一、進富[illegible]者[illegible]
一、鴨緑江ニ[illegible]
開[illegible]
[illegible]
一、[illegible]
乾[illegible]國境上[illegible]
[illegible]
[illegible]
一、進富[illegible]
一、權利[illegible]
[illegible]
[illegible]

右ノ書
一、要[illegible]
[illegible]
島ニ侵入シテ監視[illegible]
[illegible]
[illegible]
一、開鑿[illegible]
[illegible]
[illegible]柳[illegible]
股議決定シタル事
一、[illegible]
[illegible]
一、此契約ハ外交上ニ[illegible]

在安東日本領事館

REEL No. 1-0369
0418
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

REEL No. 1-0369

0419

覺書

小柳章坪開墾問題ニ関スル一進會長対柴田ノ約束ニ項ニ就テハ一進會ハ小柳章坪負下ニ関スル農商工部ハ日ノ正式ノ許可ヲ得タルトキハ速カニ之ヲ柴田ニ報告シ柴田ハ今契約第三項ニ就キ小柳章坪ノ状況ヲ時々一進會ニ報告スルコトヲ約ス

明治四十年十一月十八日

李容九
柴田藤次郎

在安東県日本領事館

[redacted]

[redacted]

後寫

黄等怪可[illegible]ニ付ハ一進会長及関係新人
介立シタルハ一進会ノ模様報告ノ件
等京城会ニ於テ
改訂契約書等進達ノ件

本件ニ関シ客月[illegible]付電信ヲ以テ京城
領事ヨリ通知ノ国新聞ニ官報ノ途次
黄等怪可[illegible]ニ[illegible]一進会長及
関係新人ノ京城会議ニ介立シタル模様
ヲ小官ニ報告スルヤ野口書記官ノ
出府ヲ京城ニ[illegible]ヲ待タスシテ帰京
セラレタル国新聞ニ官報途多ク

外務省

根源ノ大綱ヲ示シ右ニシテ廿日趙
ヲ知ラシメ昨文的法案ニ就キハ野口書記官
ノ帰京ニ帰初セラルヘキ都ニシテハ自然同
会議ノ模様ニ就キ詳細ノ報告ニ就テ
スルコトヲ待ハサルヘシ義ハ男爵ニ就テ報告
ハ別紙写ノ通リ野口書記官ノ報告書
並ニ如何ニ関シ改訂ノ契約写
等ニ乃進ニ通リ[illegible]相成タル様致
度時文書ニ等ヲ待ツ現状ハ同島ニ於
テ関係新人ノ経営セル朝鮮式家屋七
棟ヲ以テ来リ法ニ家屋五棟ヲ修理シ
已ニ三四千名ノ朝鮮人ハ入島シテ殷
繁刈形ニ陥ル方法ニ官憲ヲハ刈

REEL No. 1-0369

0421

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

那覇共同保管海ヲ中心トシ之ヲ商議ニ應シ
ムヘキ和蘭人地券ヲ以テ蔡刈取後
ニ於ケル道路開墾資金ヲ可アラシトシ又
刈取權買ノ數運搬ニ要連ニ清人ノ有
權者カ直接領事銀ニ嘆願スルアリテ
ヲ操縱シテ未タ何等確定的理
由ヲ見ルニ至ラス何トスルカ何等尚而後向
ヲ見ル暗ニ明ニ少校告ヲ致ス得
共不安敢カテ進ス為ス
明治四十年十月廿日
在長崎領事銀行務代理
領事補 ニ樋土助

外務省

洗米府
總務長官 勅原宗徳

追テ刈取人林又稀之助及林
駿清ヲ使ハ領事官補トシテ進
達ス可キ為ニ原ヲ中進ス

後篇

報告書

黄氏ノ件ニ関シ一昨年中関係者数人柴田麟次郎ト対談ノ上ニ付代表者金振素ト契約内容ニ就テ一進会カ契約履行ヲ躊躇シタルヲ生セシ経緯ヲ解決スルカ為メニ一進会評議長韓教渭ト共ニ去ル十五日ニ来ル岡部領事ニ面接商議シタルモ切開ニ至ラス交渉ノ要件ニ係ハル金振素ノ思惑ヲ知リシカ為ニ韓ノ主ノ領土トシテ勝手ニ売ル能ハサル旨ノ計事実ヲ説示セシモ韓教渭ハ

外務省

強想セシ為メ彼ヨリ商議ノ中止ヲ申出シ岡部領事ハ帰約ノ如ク直接一進会長ト柴田ノ向京城ニ於テ商議セシムル様ニ本官ニ報告セシメ必要アリトシテ柴田ニ対シ拙官ハ統監府ヲ代表シ命セシ柴田ト共ニ去ル十日岡部領事ハ黄氏ト共ニ京城ニ出張セリ此ノ解決スル方法ハ一応ト雖モ黄氏ト共ニ右ノ向ノ小松氏ト協議ヲ遂ケ最終ノ報告ヲ右ノ契約範囲ニ挿入シテ確答セシムルコトヲ

第二ノ要件トセリ

黄茅岬問題

同部領事ノ本問題ノ解決方針トシテ
先ツ二様ノ大綱ヲ別提示セリ即チ
一ハ仮交期写ニ於テハ本条ニシテ一ハ
仮交期写内政ニ移轉シタル後ノ条件
トナスト、而シテ仮交期写ニ於テハ本条
ハ絶對的領事裁判権ヲ把持シ内政
期写ニ移轉シタル後ハ領事カ其条件
ニ干渉スヘキ限リニアラサルヲ以テ契約当
事者相互ノ写本特ニ取締ノ関係ニ放
任スルニ在リ

仮交期写ニ対シテ

外務省

仮交期写ニ於テハ運動ハ神速機敏ヲ
尚ト隨テ領事カ之ヲ監督スルニ最モ便
利ナル一方ヲ直接保護管理セシムルヲ
必要トスル点ニ於テハ旧議ニ於テハ一進
會代表者ノ如キ一一命令本部ニ仰
カサレハ大事ノ決ヲ為スヲ得サルヲ以テ
ノミシテハ到底其任ニ耐ヘサルヲ以テ第四
ヲシテ直接保護管理ノ任ニ当ラシムル
シ例ヲテ別紙契約第七項ニ於テ規
定セルカ如ク甲即チ一進會ハ勅写ニ於
ケル保護管理ノ職務ヲ乙即チ第四課次
郎ニ委任セル所以ナリ

内政ニ移轉シタル後ノ対シテ

REEL No. 1-0369
0424
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

同部領事ハ如何可領カ已ニ双交罪係ヲ法ラシ内政ニ移轉ラルハ後ノ事分案ハ前題ノ如ク双交関係官憲ノ干渉スヘキ限リノモノニアラストセラタルヲ以テ双交可領ハ已ニ廢双ニ置カラル事者ノ利益可領ハ已ニ廢双ニ置カラル也ト利益危殆ノ状況ニ在ル可題ヲ對シ何人モ苦力ヲ効シ出資ヲ省コスルモノナキハ言フヲ俟タサル所カ此点ニ於テ同部領事ハ左ノ如ク宣言セラル

右同題ハ元来正條ヲ畫法スルカ為メノ要求ニ過ギサル以上現在ニ於テ

ハ利益ハ者ニ双交ニ左右セラレテ確実ヲ期スヘカラス然ルトハ即チ已ニ多カ迫ヲ強ントス自家性命ノ危険ヲ顧ミス如何遂ノ為メニ尽瘁シタルハ最モ多トスル所特ニ本邦ハ覺悟ヲ以テ事ニ從ヒ一進会ヲ京利益同盟ハ都クマテ援及セラレ且ツ本邦ハ西者ニ此国家可成ル双交ヲ援助スルヲ唯一目的トスルヲ希望トスルト同時ニ如何可成ノ政ニ移轉シタル後ノ事ニ対シテハ仮令関係官憲ハ干渉スヘキ限リノモノニアラストスルトハ勿論ナレ契約書

事者カ将来利益ヲ企ニ牽連ス
ル実鍵ノ形式ニ対シ更ニ係官憲ハ相
当ノ尽力ヲ肯テスル憚ラス云ト
然ルニ同契約第八項ニ規定シテ将来
ノ利益ニ関シ契約者ノ事者ハ相互ノ
利益ヲ保障セサル限リ決シテ島ノ状況
ハ前章列記ノ時期ニ達セサルヲ以テ清国
官憲カ勿ロミ我ニ迫リテ去年殘餘
ヲ要求スヘキ最後ノ期限ハ定メ難キ如ク殘餘ノ
形勢用ヲ為サヽル上ハ其所属ノ人ニ交
事ト道甚タ共同保安トナシ他ノ国
境ヲ経決定ノ上其所属ノ人ニ交
付スルコトヽシテ以テ彼我争奪ノ害ヲ
除カンコトヲ主張セントスル一方ニ日新領ヲ
ハ後島ニ於テハ一切新領ヲ
実際ニ於テ人民ノ居住スルコトヲ裏心ヲ図リ居
ルニ付日清ノ両国ハ互ニ相譲リ妥協ヲ
一概ニ排除シテ殘留ス争奪ヲ而シテ殘留ス争奪ヲ
永続スルヲ計リ妥協ヲ想定シ情
契約書ヲ南京ニ対シ現在ノ活動ハ要スル
以交ヲ撤回スルヲ目的トシ利益ヲ或
ハ移度迄度以ニ置ク覚悟ヲ保セス所
以ノ右ノ都合ハ同新領ヲ引渡ス
ヲ第四ノ工鶴石原清務長安ニ而東
セシメタリ

前契約ヲ引渡セシ経緯ノ解決

REEL No. 1-0369
0426
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

Meiji 30

抑モ前契約ニ於テ一進会ノ為ニ雇ヒ
置キシ警察官ハ原因ハ柴田四
千四出資額ニ対シテ進会ノ八千四出資
ノ義務ヲ負フモノニ基ク其契約
ヲ訂結セン時ハ両新領土ハ当分之
ニ委任シ体ニ倣ヒ敏活ノ動ヲ必要トス
ルヲ以テ便宜上柴田ヲ経営ノ主者ト
ナスヘキヲ協定シタルニ過ギサルモノ他ハ一
切柴田ト進会ノ任意契約ニ委シタ
ル次第ナニ原額ノ事ハ決定セサル係
争地ニ対シ利益関係ニ於テ四郡管
轄ヲ異ニスルカ如キ観ヲ呈スルハ甚タ
ヲ体ヲ得サルヲ以テ四郡領土ハ柴田
ニ対シテハ御等出資即チ一進会ニ於テ
負担スヘキ八千四ヲ四千四ニ減シテ甘ク出
資ノ義務ヲ終了シ進会ハ前契約ニ基キ
其ノ進会ハ前ヲ宰者即チ甲ト乙者ノ地位
ニ立チ柴田ヲ一当ヲ優ノ観アリトテ
ナラサルモノトシ以テ甲乙地位ヲ頼剛ニ平
等ノ権利ヲ有スルモノトシ以テ右ニ乗ス
ル事ヲ得ス
外務省
統監府ノ一英係官ニ嘱シ本件
務長官ニ京清セシタルニ適ク本件
関係者ノ前向面決官ハ小林方面

REEL No. 1-0369
0427
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

こゝに於て右ゝ以て長崎ハ従来府ノ管轄ニシテ直接ノ関係なく中国民平氏ヲ減シ高麗ニ系与セシメシ事柄ハ其ノ事実係名黄麟源助トハ直接ノ関係なく九及内田良平ヲ以テ行留ニ召集し前述ノ宗旨ヲ表示し以テ本件を朝ノ公談ヲ解決し翌十二日ヲ以テ別紙甲号宮ノ通リ改定契約ヲ訂結セしめん コトニ決定セしム黄麟源助ハ十二日ヲ以テ契約ニ実ニ成リ前述ノ如タルを直接ノ結合ニ合リ調印交換ハ十日トナリ同朝領ハ十二日ヲ以テ

外務省

刻更ニ直接ニ長崎ノ中ニ寄セ除テ鶴原長官ノ現地ニ交ヲ以テ柳菅相宮ニ急ヲ此解決ニ至ル必要アルハ各ヲ除ク同時ニ直接ノ長官ハ明ニ同志ハ朝領ハ高麗ノ上朝領ハ黄麟源助ハ柳菅相ニ契約ノ此旨及小柳菅相ニ契約ノ明成及黄麟源助トヲ協定ニ成シテ翌十二日ヲ以テ京城ニ帰朝ノ途ニ就セリ

小柳菅相ニ契約ノ明成及黄麟源助ニ改定契約ノ要旨ヲ説ク

REEL No. 1-0369

0428

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

外務省

タル拙官ハ十二日ニ於テ別紙甲号ノ通リ黄等ノ甲号ニ対シ契約ヲ交換セン旨ヲ伝ヘ其小柳等ノ甲号ニ対シ契約書ノ商議ニ及ヒシニハ柴田ト共ニ一進会長ト各自ノ自由意思ニ依リテ商議セシメンコトヲ拙官ハ其国部行司ヲ以テ令セシタル件ニ付テハ総テ府ニ到リテ多面ニ於テ黄等甲号ニ対シ契約書ノ交換ヲ拒ヒ之ヲ官ニ帰シ其結果ノ如ク柴田ハ一方柴田ニ対シ自然ノ成ル商ヲ問ヲ費セリ一進会ノ小柳ニ対シ商議ハ一進会ニ於テ黄ノ甲号ト小柳等ノ甲号ハ別ニ可然ナリトノ議論ヲ為サヲ居ルトノ故ヲ以テ宮内ニ高議ヲマラス拙官カ一進会長ニ面会シテ国会長ハ小柳ノ情ヲ明知セン拙官ノ直接宋碧高ニ命ジ高会ノ上ニ於テ公ルコトヲ希望シ其国部領事ノ伝言ヲ伝フルノ必要モアリシヲ以テ十二日李一進会長及柴田ト共ニ碧高ニ部大臣ノ居ヲ訪問シ小柳等甲号ハ一進会ニ於テ黄等甲号ハ一進会ニ於テ黄ノ甲号ニ対シ高会ノ上ニ於テ公ス旨ヲ伝ヘ陳ベタル右ハ韓国大臣ノ議論ニシテ清国ハ矢張リ自国ノ領土ト主張シ其根拠ハ李天将軍ヲ以テ

REEL No. 1-0369

0429

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

that
that
that
that

書ノ交付ヲ交ヲ一新ニ前書ヲ移付
シタルト云フニ左リ清国官憲ノ照会
ニ文書ヲ写シ拙官ハ落テ之ヲ新人ノ
契約ニ入ルヲ要請スルコトヲサレド黄
並怪ノ欲ニ案スル経緯上ニ新人ノ
力ヲ藉リ又要アリトスル以上ハ目下状態
ニ於テ小柳並怪ヲ新人ノ力ヲ
利用スルノ必要アルハ目下ノ急
シ況ンヤ進雪カ小柳並怪ニ対シテ落テ
新人ノ関係ヲ作ル方ヲ欲セサルニ在シハ
方ノ必スシモ不可ナラス要ハ唯ノ一進
会ノ行ノ急速ニ成ノ実ヲ挙ケ以
交的交渉ヲ邦助スルノ必要ノ対備

外務省

ヲ施サンコトヲ願ム右報切ニ送付シタルニ
宋ヲ以ハ鈴木拙官ヲ見ヲ勧迫シ且
つ曰ク小柳並怪ハ前ノ関係者同訓
煥ノ死後其家婦ヲ助メテ之カ後ト
ヲ引出スヲ自ラハ渡戚ノ丁病ニテ
リ且家婦ノ業トシテハ従ラニ他人ノ
危知ノ如ク恐アリ新発ニ之ヲ思正
マラシメ矢張リ一進会ニ代ルトスル
決定シタルニ依リ黄並怪ト日孫柴田ト
契約スル方然ルヘシ豫テ右ノ通リ
リ拙官ハ契約業ハ其ノ刻迄ニ調
印スルノ運ニ商計フヘキコトヲ
退散セリ然ルニ宋大臣ノ此言書ノ統

10

REEL No. 1-0369

0430

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

然ルニ本問題ニ関係セシメラレタル内
田良平氏ト云ヘル者 陳通ニ欠クル所
アリタリトカノ故ヲ以テ多数ニ至リテ
宗大臣ヨリ電話ヲ以テ枢官ニ通告ス
ルニ其件ハ内田良平氏ト会見ノ上決
定スベシト謂フニ在リ 此ニ於テ枢官ハ翌
十六日内田良平氏ヲ訪問シタルニ別ニ
異論ハナク唯ダ本契約ノ訂結ニ付テハ
ヲ求メタルニ遂ニモテ即チ前述乙号写
ノ通リ小柳草坪ニ要スル一進会対柴
田ノ契約ハ了領シ解決ヲ告ゲ軍部頗
事ノ命令ヲ字部ヲ完了スルモノトヲ得
タリ 唯ダ宗大臣及一進会長内田
良平氏等ハ当時紛争ニ無余懐ヲ極メ
容易ニ両会ノ協会ヲ得ズ而シテ両会
共ニハ解決スルモノトヲ得セ了領ノ上
ナルハ自然論定ノ以テ日子ヲ費スニ
至ルハ遺憾トスル所ナリ
右及報告候也

明治四十年十月二十日

外務書記官兼任統監府書記官
野口多内

副理事官兼任領事事務取扱
三浦彌五郎殿

別紙甲第一号

契約書

龍岩浦鴨緑江口ノ蓋馬地方（以下本契約ニ於テ大債主ト称ス）ノ経営ヲ行フ為メ今ヲ甲トシ日本人業主横内郎ヲ乙トシ左ノ契約ヲ締結ス

一、黄草坪経営ニ付テハ既ニ日本貨四千円ノ資金ヲ投入セラレタルヲ以テ甲ハ此際四千円ヲ出資シ以テ経営ニ供スヘキモノトス

一、該経営ニ対シ此ノ際甲ノ出資スヘキ四千円ニテ不足ノ場合ハ甲乙協議ノ上年毎ニ出資スル事

一、黄草坪ノ経営ハ軍ニ現在ノ目的物ノミハ葦子苅取ニシテ出マラス其後ハ漢業者ニ地ヲ貸シ水田経営ヲナスヲ或ハ温泉ノ本格的開発等ニ地域ヲ広ムル事

一、一切ノ財産ヲ合ムヲ以テ系列ノ経営ヲ甲乙合議協定スヘキ事

一、乙経営ニ要スル人夫ハ成可ク現地ノ住民ヲ以テ甲ヲ経テ雇入ヲ移植セシムル事

一、黄草坪経営節用ノ機械及物件ハ総テ以テスルモ甲乙共自ノ持ヲ以テ便宜又ハ投資ノ目的ニ供スル事ヲ得ス

外務省

REEL No. 1-0369

0432

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一、該港賃貸料生ズル利益ハ総テ甲乙両者均等ニ收得スヲ
以テ甲乙ハ其ノ利益ヲ分ツモノトス

一、現時ノ該黄茅埠ハ清韓両国外交ノ打衝ノ日ニアルヲ以テ甲ハ
乙ニ経営ヲ他人ニ委任ス但シ甲ニ於テ乙ニ對シ異議アル時ハ
領事館ニ訴ヘ領事ノ裁決ヲ仰クヲ得

一、右外交ノ談判若シクハ甲乙両者協議ノ上契約書ノ改訂ヲ為ス事アルヲ
但シ初議ノ打合ニ於テハ変動セス

外務省

一、本契約ハ二通ヲ作リ甲乙各々一通ヲ所持シ其一通ヲ以テ義務ノ履行ニ
係ル

右
明治十七年十月日
豊業商社代表者
一進会事務所 李容九
出張所 東京麻布区三日市町四番地
柴田藤次郎

REEL No. 1-0369
0433
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

別紙二号寫

契約書

一、進一會代表者李容九ト柴田麟治郎ハ鴨綠江中ニ横ハレル小柳島ヲ所屬ヲ明ニスルカ為メ相互同意契約スルコト左ノ如シ

一、小柳島ハ現時韓清ノ所屬ニシテ未タ地ヲ分ツニ至ラス故ニ之カ境界ヲ定ムル事

一、一進一會代表者李容九ハ韓國人ノ權利ニ關スル一切ノ行事ヲ排除シ以テ農商工部ヨリ一進一會ニ小柳島ハ柴田麟治郎ニ許可ス畫力

外務省

スル事

一、柴田麟治郎ハ小柳島ハ柴田麟治郎ニ居住スルヲ以テ常ニ清國人ノ侵入ヲ防禦シ島ニ侵入スルヲ防禦シ且ツ防禦ノ手段方法ヲ施シ設置ノ費ヲ負クルニ援助努力スル事

一、一進一會ハ農業用ハ四百四十一元ノ米粉ト同時ニ五萬元ニ達スル事

一、利益ハ開墾費用出資額ノ多寡ニヨリテ相互協議ス

一、此契約ハ永交上ノ紛爭ヲ防ク為ト同

REEL No. 1-0369

0434

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

時ニ各条件ヲ協定シ更ニ契約ヲ
改訂スルコトアルヘシ

一、本契約ハ三通ヲ作製シ李容九ト
柴田藤次郎各壱通ヲ所持シ一通
ヲ新義州理事廳ニ保管ス

左

明治四十年十月十八日

京城美洞
一進會長 李容九
安東県外二番通二十四番地
柴田藤次郎

外務省

REEL No. 1-0369

0435

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

復寫

覚書

小柳参事官ノ開望ニ依リ左ノ一進一退
長対馬間ノ契約第二項ニ就テハ
一進一退ハ小柳参事官ニ委ス
ル豊富三郎正式ノ許可ヲ得
タルトキハ速ヲニ対馬ニ報
告シ対馬間ハ契約第二項ニ就テ
キハ小柳参事官ヨリ一進一退
ニ報告スルコトヲ約ス

明治四十年十月十日

李容九
対馬藤次郎

外務省

REEL No. 1-0369
0436
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

明治四十一年一月十七日 通商局長

人事課 主任

會計課 檢査 支出

明治四十一年一月十六日起草 一月十七日發遣

同

外務省

文書課

左ノ事件務代理就キ出張追伺ノ件

野口書記生出張追伺方

明治四十一年一月九日

野口書記生京城ヘ出張追伺方

伺ヒ候ニ付公信第二〇号ヲ以テ

右ノ事情已ニ了承ス

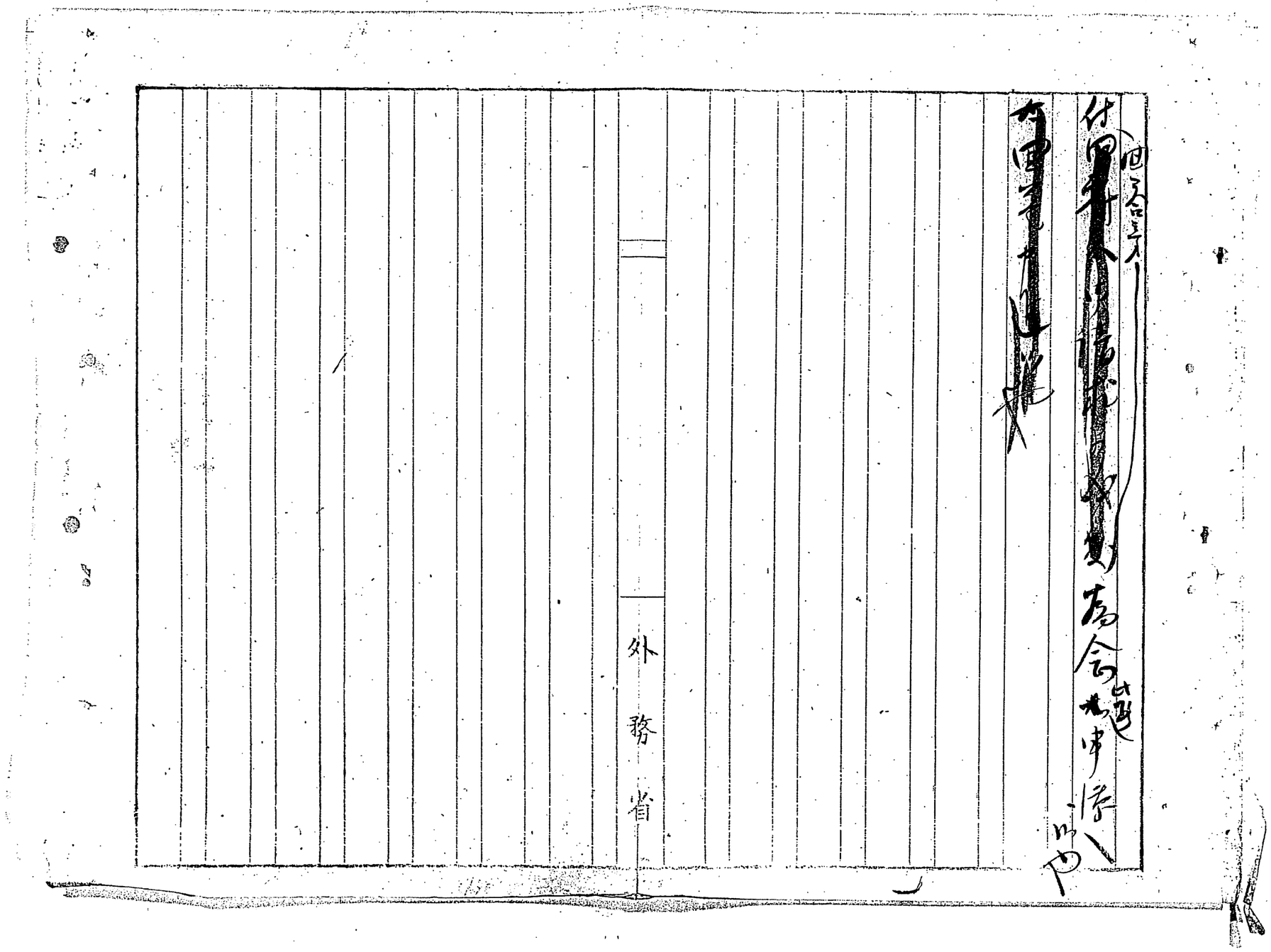
ザルモノト信ズ追伺ノ手続ハ

尤ヒ書記生出張ニ関シテハ理事廳

屬官ノ資格ヲ以テ出張ノ伺ヒ

旅費其他費用

出張ト認ム



REEL No. 1-0369

0438

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

明治四十年十二月廿七日受取

通商局

公信第二〇四号

野口書記生京城出張

追認願請之件

本件ニ関シ本年八月十七日機密公信第三四號ヲ以テ報告致置候韓人崔昌黙ヲ以テ流洲灣黄草坪ノ開墾ニ関シ邦人崔昌黙及一進會代表者金振泰ノ契約ニ就キ一進會側ヨリ其情状遂ニ京城ニ於テ崔昌黙ト一進會長トノ協同會議ニ付シ其情況ヲ報告セシムル旨ノ報告ニ接シ本件ヲ取極ノ上野口書記生ヲ出張ス

在京城日本領事館

追テ出張ヲ以テ同氏ノ出張ヲ要シ其義州ニ於テ事務ヲ終ル次第ニ付テハ本府ヲ命ゼラルヽヲ可ト認ム因テ書記生ヲ京城ニ出張シ同月廿日領事館法令ニ基ク出張ヲ要シ旨ノ電報ヲ以テ出張ヲ命ジタル次第ニ付テハ追認方願ヒ度ク此段及ヒ請議候也

明治四十年十二月廿一日

在京城領事館事務代理

領事官補三浦五郎

外務大臣伯爵林董殿

REEL No. 1-0369

0439

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

機密

大臣
次官
の政務
通商
人事
會計
取調

岡部領事

No. 四五六五
暗

第七九號

本省外務大臣

昭和四年十月二十四日着 三五〇
同 十五日前六五〇

貴信

今般高橋南埠頭ニ黄草坪（コウソウヘイ）ト稱スル地ヲ（テイテウガ）
為シ京城ニ出張セルニ付左ノ通リ鶴原長官
ヘ電報セリ

（原）

去ル十七日付第二（不明）電報ニ関シ本官
昨日セン通臺ヲ訪問シテ通臺隨員
京城行ノ用向ハ黄草坪（コウソウヘイ）ト稱スル地
ヲ確メメワ本年ノ墓（アシ）刈取ニ関スルセン
通臺ノ主張ハ矢張リ昨年ノ残リ蘆（ヨシ）ヲ
殺

REEL No. 1-0369

0440

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

来ル七月セルト同様（本年五月三日付機密
第一信参照）州取費用ノ残額ハ之ヲ
日清両国ニ於テ共同保管ノ為スコトニ
致シメントト云フニアリ本官ハ之ノ理由アル
想察ニ對シ表ヲ向キ之ニ賛成ノ表セ
サルヲ得サル場合ニ立チタリ然ルニ共同
保管ハ前例ニヨル此等ノ名義ノミニシテ
実際行ハレサル向数ニシテ我レハ之ノ順
当ニ委ケ流シ置クノ理利アリト思考ス
国境向数ニ関シ センノ道量ノ実地
コウハウヘイヲ検分セル結果トシテ同

嶋ノ上流部分ハ著シク清岸ニ近ク下流
部分ハ著シク龍巖浦ノ突出セル岬角
ニ接近セルヲ以テ領土所属問題ニツキ清
韓両国ノ主張スル所各理由アルニヨリ将
来之ヲ折半シテ両国各其事分ノ領有
スルコト西園ナリトノ私案ヲ有スル旨本官ニ
洩ス
本電信ハ北京ニ伝ヘ電報セリ

REEL No. 1-0369
0441
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

復写

四五〇

暗

東京外務省 [illegible] 年十月 [illegible] 日 [illegible] 後 [illegible] 発
本省着 [illegible]

林外務大臣　[illegible]領事

第十七号

今般当地 [illegible] 局ニユテイイテウガ
[illegible] 命ニ京城ニ出張セシメ右ノ通リ　コウソウヘイ 黄海道
[illegible] 京 長 [illegible] 二 密殺セリ
去ル十七日附第二(不明) 密殺ニ 関シ [illegible]
官吏 セニ 道長官 ヲ訪問シテ 道長官
[illegible] ヨリ [illegible] ノ用向ハ 黄海道 コウカイドウ へ 問題
ト [illegible] スルコト [illegible] 本年ノ 葦アシ 刈取ニ 関ス
ル セン 道長官 ハ 出張 ハ 実ハ [illegible] 昨年
ノ 残り 葦ヨシ ヲ [illegible] セルト [illegible] (本年五
月 [illegible] 検 [illegible] 刈取 費
用ヲ [illegible] 額 ハ [illegible] 日 [illegible] 二 [illegible]
テ 共同 保 [illegible] ヲ為スコトニ 致シタレド [illegible]
[illegible] 官 ハ [illegible] 理由アル 故 [illegible] 二対
シ 表 [illegible] 之ニ [illegible] 表 セサル ヲ 得
サル 場合 [illegible] 共同 保 [illegible]
ハ [illegible] 二 [illegible] ニ [illegible] シテ [illegible]
[illegible] ハ [illegible] 二 [illegible] シテ ノ [illegible] ハ [illegible] 状

外務省

尚ニ考慮シ置ラルヘキ事ハ別ノ事ニ
國情ノ如キニ変シ
コウリウヘイヲ撫ス
ノ上流都ノ者ニ
都ニ著ラル
岬毎ニ接近セン
既ニ以テ清帝ノ
条約ノ如ク
ヲ要ス
高チリト和棄ノ方ニ
外務省
右電信ノ如ク